

和合

No.118
2017.8.20

題字 三浦修次

主な掲載記事

おらほのあつまり！	2
むかしあそび	2
こんにちは！亀ノ尾の里資料館です ...	3
はやぐおっきぐなれの～！	4
よつぱっこ通信	5
6年生のみんなが願う和合の里	5
畑からこんにちは！	6
おとう駐在所	6
こんにちは 保健師です	7
健康レシビ	7
和合の里 INFORMATION	8



おらほのあづまい!

～小出新田編～

[おらほの部落では、こげだなしたなやの]

今年も小出沼親水公園の桜並木は、きれいに咲き、みなさんを楽しませてくれました。この桜の木は今から47年ほど前に余目駅前の三丁目生花店から寄贈されたもので、先人の方々が毎年管理を続けてきたおかげで、今のように桜の花を楽しむことができます。公園の正面には鳥海山が陣取り、桜の木の下で今年も盛大に観桜会が開催されました。

この観桜会も今年で37回を数え、部落の人々の親睦と交流の場として定着した行事となっています。今年も、庄内町長と和合の里を創る会の会長を来賓として迎え、4月23日に行われました。子どもからお年寄り



まで集まり、ビンゴ大会や小学生によるわたあめの振る舞いなども行われ、楽しい笑い声が会場いっぱいに溢れていました。

春の農作業の忙しい時期にこのように行事を行うことができるのも、皆さんのご協力があることと感謝しております。今後とも、桜の木と観桜会を大切に守り続けていきたいと思っています。



む・がしあそび

石の水面投げ

最上川に行った時、平らな石を水平に投げて、水面に何回ジャンプ出来るか競った。

5回以上ジャンプを出来る上手な子もいた。



尻相撲

お互いに後ろ向きになって、腰をまげて尻を突き出し、尻と尻とぶっつけ合う。

前に出た子は負けた。

一発勝負であった。





こんにちは！亀ノ尾の里資料館です

— 道具図鑑 — ハエ取り瓶

ガラスのオブジェのようなフォルム。これがなんとハエを取るための道具である。ガラス製で上部の口にふたがついている。底は中央が内部に丸く湾曲して立ち上がり、その先端に穴が開いている。容器の中に米の研ぎ汁または水を入れる。容器の下に飯粒や砂糖を置くと、ハエが下から入って水の中に落ちるという仕組み。



ぜんまい式で動くハイトリックというハエ取器もあるよ。四角いローラーの部分に砂糖水や油を塗る。このローラーがゆっくり回り、ハエが内部（かごの部分）に入って出られなくなるという仕組み。こちらは、少々高価だったため、学校や病院、飲食店などで使われたようです。



ざりがにしめ

夏の頃、田圃の水路に網をかけて、上流からがたがたで追い込み、ざりがにを捕まえてハサミの大きさを競った。

網にはどんじょもかかった。

- ・ がたがた…棒の下に上下する木の輪っかを付けた道具
- ・ どんじょ…どじょう



平成29年度企画展

内藤秀因展

平成29年 8月10日(木)～11月19日(日)

● 時 間 / 午前9時～午後9時 ● 平成29年9月5日(金)、11月14日(金)は、企画展のため午後5時～9時

● 入館料 / 無料



庄内町亀ノ尾の里資料館

(赤松美術館併設)

〒999-7727 山形県東田川郡庄内町東野字十八軒21-1

☎ (0234) 44-2162 ・ FAX (0234) 44-2169

— 企画展 —

「内藤秀因展」

今年度2回目の企画展は、和合の里（古関）出身の画家・名誉町民である内藤秀因の作品展です。

今回の企画展では、昭和57年に寄贈された庄内町総合体育館のステージ緞帳の原画ほか、油彩画や掛軸等個人所蔵の作品を中心に公開します。

— この機会にぜひご鑑賞ください —

さとう じゅり
佐藤 朱莉ちゃん

前田野目

平成28年7月4日生まれ

パパ：宏之 ママ：真実子



- 1 夏生まれなので、朱色の太陽の光のイメージのように、明るく元気いっぱいな子になってほしいと思い付けました。
- 2 立ちながら「おっ！」などと声を出しながら指を差したり、手を叩いたりすること。歌や音楽のリズムに合わせて踊ること。

- 3 4ヶ月違いの女の子のいとこがいるのですが、その子に人差し指を差し出したら、その子も人差し指を差し出して、2人で“ET”をしていた！（笑）

- 4 買い物が終わって左腕に朱莉、右手に荷物を持って車へ。でも、どちらも重くて落としそうになったこと。

- 5 お姉ちゃんと走り回って遊べる日ももう少し!! お姉ちゃん、楽しみにしています♡姉妹仲良く、元気いっぱいいてね。

パパ&ママにインタビュー

はやくおっきくなれの～!

Q1／名前の由来は？

Q3／最近記憶に残ったエピソードは？

Q5／パパママからのメッセージ

Q2／今一番の興味やハマっていることは？

Q4／パパママの失敗談（子育てあるある）

- 1 いろいろな物事に興味を持ち、その中から芽を出し、芽彩自身がその興味を持った事に対して彩を感じられる人生を歩んで欲しいと思い、芽がいずれ彩りに変わるようにという意味を込め、芽彩にしました。
- 2 音の出る絵本やティッシュ。ティッシュの箱を見つけると、出してちぎって1人で静かに遊んでいます。
- 3 動き回るのが楽しくなってきたみたいで、朝寝ているはずの芽彩ちゃん。目覚めしてみると壁際にちよっこりお座り状態になっていました（笑）
- 4 パパママがお休みの日、いろいろな所に連れて行きたくて、連れ回してしまい休み明け具合悪くなって休む。

おおくぼ めい
大久保 芽彩ちゃん

本小野方

平成28年9月2日生まれ

パパ：貴由 ママ：優花



- 5 もっといっぱい食べて、ににより強くなってね（笑）歩けるようになるの楽しみだね。

余目第四幼稚園 よつぱっこ通信 「楽しみな交流会！」



第四幼稚園と第四小学校は、年5回計画的に交流を行っています。

1年生（5月）

3月に卒園した子どもたちが久しぶりのお里帰りをして、小学校で勉強していることの一端を披露してくれました。小学生らしい話の仕方や発表、そして難しい校歌を聞かせてくれ、「2ヶ月でこんなにカッコよく変身するとは！」と子どもたちも職員もその成長振りに目を見張りました。みんなでゲームをしたり、部屋を見て回ったりしてしばし余韻に浸っていました。

5年生（7月）

年長兄が、小学校でプール交流を行いました。5年

生がワンツーマンでやさしく丁寧に接してくれ、おんぶしながら深いところまで連れて行ってくれたり、ビート板を使ったりもぐりっこをしたり、無理なくその子に合った接し方で教えてくれました。「体が浮いた!」「顔を水につけられた」「水の中で目を開けてみた」など、楽しさが上達につながってきたようです。

今後・・・音楽の発表や劇を見せてもらったり、学校で勉強体験や遊びなどの交流もあります。小学生や学校に親しみやあこがれの気持ちを持って接しながら、小学校入学につなげていければと思います。



6年生のみんなが願う和合の里



ゆうと
中村 優翔
【小出新田】

四小は自然豊かで、みんな仲良しで優しくいいです。四小の自慢はあいさつで、それがもっとよくなるようにがんばりたいです。



たいと
上野 太士
【吉 方】

自分は、和合の里の一人ひとりが笑顔で、地域の人々が助け合いながら住みやすい和合の里にしてほしいです。



いぶき
佐藤 依吹
【沢新田】

私は、犯罪がなく、誰かが困っていたら助け合う和合の里になってほしいです。



あいり
大倉 愛梨
【前田野目】

私は、みんなで仲良くし、たくさん笑顔が広がって、助け合いながら、かがやく「和合の里」にしていきたいです。



りか
松田 梨香
【古 関】

春夏秋冬、いろんな色を見せてくれて、生き物がたくさんいて、和合の里の人たちが楽しく、笑っていられる里になってほしいです。

は た け 畑 から こん に す い ！

[うちの畑では、こげだな植えたなやの]

廻 館 鈴 木 征 子 さん

青田を渡る風がさわやかな日、畑の取材に伺ったのは、今年度から和合大学院「悠遊塾」に参加してくれている廻館の鈴木征子さんの畑です。自宅から少し離れたところにある畑はウォーキングに丁度いい距離で、途中休憩を入れながらゆっくりと向かうそう。そんな征子さんについて行くと、畑にはきゅうり、ネギ、うるい、枝豆やささぎ、じゃがいも、なつ菜などの野菜をはじめ、夏らしいミニヒマワリ、グラジオラスが咲いていました。

征子さんが畑を始めたのはかれこれ30年以上前で、旦那さんの転勤先でプランター栽培からはじめ、庄内へ戻ってきたのをキッカケに本格的に始めたとのこと。元々実家が農家だったこともあり、両親の作業を見ていたのでその知識が今でも役立っているのではないかとのことです。

現在は、昼前や夕方に暇を見つけては畑に行き草むしりに精を出しているとのこと、ちょうどその時間帯だと飛行



機が横切り、見上げるのも楽しみのひとつだとか。

征子さんが頑張って育てた野菜たちは、収穫して自宅に持ち帰ると「今日はこれだけ収穫があった！」と旦那さんに報告し二人で出来栄を見ては楽しんでいるそうです。

今年はじゃがいもがとても良く出来たとのことで、煮っころがしを作ったら大変おいしかったと嬉しそうに話してくれました。



わ げ う 駐 在 所 防 災 意 識 の 高 揚 ①

7月初め、九州北部で発生した記録的豪雨により土砂災害が発生、庄内町でも大雨による土砂崩れにより県道の通行止めが発生しました。

自然災害は、人間の力で発生を食い止めることは不可能です。しかし、被害を減らすことは可能です。

災害はまた必ずやってくるということを忘れず、過去の災害を教訓として、日頃から防災に対する意識と準備をしましょう。

日 頃 から の 準 備 …

- 数日分の食料、衣類や懐中電灯、ラジオ等の非常持ち出し品を準備し、すぐ持ち出せる場所へ保管しましょう。
- 家族との連絡手段や避難場所の確認をしましょう。
- テレビやタンス等、家具の転倒防止措置をとりましょう。

地 震 が き た ら …

- 海岸・河川敷周辺にいて、強い地震や長い時間（1分以上）の揺れを感じたらすぐに高台に避難し、できるだけ海岸や河川敷から遠くに離れましょう。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報や注意報が解除されるまで、海岸や河川敷には近づかないで下さい。
- 警察官、自治体職員、消防職員等からの指示やサイレン広報車による避難勧告や指示があったらすぐ避難しましょう。



こんにちは
保健師です！

庄内町保健福祉課 第四学区担当

渋谷 麗

歯とお口を健康に！

～よい歯は一生の宝もの～

いつまでも健康でいきいきと暮らすには、歯とお口の健康管理が欠かせません。

歯周病やむし歯の原因は、歯にたまった歯垢です。歯垢は白色や黄白色のネバネバとした歯の付着物ですが、食べかすではありません。その正体は、むし歯菌、歯周病菌などの細菌が増殖して集まったものです。歯の表面に付着したまま放っておくと“むし歯”の原因になり、歯ぐき（歯肉）に接したまま放っておくと“歯周病”の原因になります。歯を失う原因の約7割は、むし歯と歯周病です。また、歯周病を放置すると歯周病菌が血管に入り込み、心臓病や脳卒中などの原因になることもあります。

おいしく食べ、健康な生活を送るには、歯は20本以上あることが理想的です。80歳で20本以上の歯を維持できるように、以下のポイントに気をつけましょう。

Check!



お口の健康のポイント！

- ◆毎食後、歯をみがきましょう。毎食後が無理な時は、1日1回しっかりていねいにみがきましょう。歯と歯の間は、歯間ブラシやデンタルフロスなどを活用しましょう。
- ◆細菌の増殖を防ぎ、口臭を予防するために、舌の上についた白い汚れを除去しましょう。舌の専用ブラシがあります。
- ◆入れ歯ははずして表と裏を両方しっかりみがきましょう。入れ歯専用の歯ブラシ、洗浄剤があります。
- ◆定期的に歯科健診を受け、トラブルを未然に防ぎましょう。

問合せ先

健康推進係（余目保健センター） ☎ 4 2 - 0 1 7 0

健康福祉係（立川庁舎） ☎ 5 6 - 3 3 9 2

健康レシピ なすそうめん



◆材料（2人分）

長なす …………… 2本
片栗粉 …………… 大さじ3
だし汁（鰹節）… 100cc
しょう油 …………… 大さじ2
みりん …………… 大さじ3
青しそ …………… 2枚
生 姜 …………… 少々
みょうが …………… 1本

◆作り方

- 1 長なすは皮をむき、できるだけ細く長く切る。水にさらしてあく抜きする。
- 2 青しそ、生姜、みょうがはせん切りにする。
- 3 ②の調味料を鍋に入れて煮立たせて、たれを作る。
- 4 なすをざるにあげ、よく水分をとり、片栗粉をまぶす。
- 5 沸騰している湯で茹でる。ざるにとり水気をきる。
- 6 器になすを入れて、たれをそそぎ、薬味をのせる。

◆ポイント

- ◎なすは細く切るとのど越しが良くなります。
- ◎たれはめんつゆで代用できます。
- ◎薬味はお好みで量を調整してください。

和合の里

INFORMATION

白熱！ 第四学区老人クラブ連絡協議会 グラウンドゴルフ大会



7月9日、前田野目農村公園ひだまりを会場に第10回グラウンドゴルフ大会が開催され、各単位クラブから約80名が参加し、30℃を越す気温に負けず劣らずの熱戦を繰り広げました。

▼大会成績は以下のとおり(敬称略)

【団体】

- 1位：南野Aチーム
- 2位：古閑Aチーム
- 3位：西袋

【個人】

- 1位：工藤 浅和（古閑）
- 2位：阿部 正彦（南野）
- 3位：本間 俊男（西袋）



四小児童ら 一人暮らしのお年寄りに花鉢を贈る活動



7月12日、地域との交流を目的に余目第四小学校の6年生を中心に学区内の一人暮らしのお年寄りを訪ね、環境委員会の児童たちが育てた花鉢と手紙を贈りました。子ども達の元気な挨拶と笑顔で、花鉢を受け取った皆さんの表情にも花が咲いたようでした。

6年生の工藤奈緒さん(古閑／左写真)は今回の活動で「地域の人たちに喜んでもらえてよかった」と話してくれました。



健康な身体を目指し「いきいき百歳体操」にチャレンジ！（吉方）

吉方では7月～9月までの3ヶ月間、毎週土曜日朝9時30分から「※いきいき百歳体操」に取り組んでいます。総勢17名のメンバーが会話を楽しみながら時に笑い声も響かせ、40分程度の体操で汗を流していました。参加者らは「良い取り組みなので、他の部落にも広がれば…」と話していました。

※「いきいき百歳体操」

腕や足の曲げ伸ばしを主とした簡単な運動で、筋力や注意機能、認知機能の向上が見込まれるもの。



四小児童会 模範活動青少年団体として表彰を受ける



7月25日、響ホールで庄内町町民大会が行われ、四小児童会が表彰を受けました。これは、ボランティア活動として長年にわたってプルタブ回収に取り組み、特別養護老人ホーム「ソーナ」へ、毎年、生活用品や折り紙、紙風船などの遊具を寄付してきたことが、地域の福祉活動に貢献した取り組みとして高く評価されたものです。

児童会を代表し、運営委員長の渡部晃大さん（6年/吉方）が表彰状を受け取りました。

■四公&亀ノ尾の里資料館からのお知らせ：9月5日(火)全館清掃のため午後5時からの利用になります。